

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED/FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2020. 10



富士ゼロックス (A3+/カラー) Variant 210 Press



中国・Pantum (A3/モノクロ) M7170DW

サンプルページ入り



米・HP (A4/カラー) Color LaserJet Enterprise MFP M578dn



米・ゼロックス (A3/カラー) VersaLink C8000W



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「新製品及び消耗品情報」【国内】<オフィス向け>より抜粋

■新製品及び消耗品情報■

【国内】

<プロ/業務向け>

N-カラープロダクションプリンタ (A3+) - 富士ゼロックス-9

商品名	Versant 3100i Press/180i Press
標準価格	19,880,000円/8,725,000円
発売年月	2020年10月30日
出力サイズ	A3+
スピード	3100i: C・Mとも100枚/分(A4ヨコ) 180i: C・Mとも100枚/分(A4ヨコ)
販売状況	コピ 添付オプション
目標販売台数(国内)	

「実販情報」より抜粋

■実販情報■

F-カラーMFP (A3+) - キヤノン-6

キヤノンのA3カラーMFPのメインモデル「imageRUNNER C3125シリーズ/DX C3725シリーズ/DX C3730シリーズ」の販売はコロナ影響を受け、減少している。

機種名	スピード (ppm)	期間	全世界の出荷台数 (台)
imageRUNNER C3125/C3125i	C25/M25	2020年	
imageRUNNER ADVANCE DX C3725/25i			
imageRUNNER ADVANCE DX C3730/30i/30iS			

<機種概要>

「imageRUNNER ADVANCE (C31xx)」は、兄弟機に、「imageRUNNER ADVANCE C3720(カラー、モノクロ共2色)」の名称を付されたり、「DX」の名称を付されたり、オプションや uniFlow などの機能にオプションで搭載されている。旧機種にオプションで搭載されている。

imageRUNNER C31xx は、シンプルとなり、多様な Cloud 連携されたコスト重視なシンプル

<販売台数>

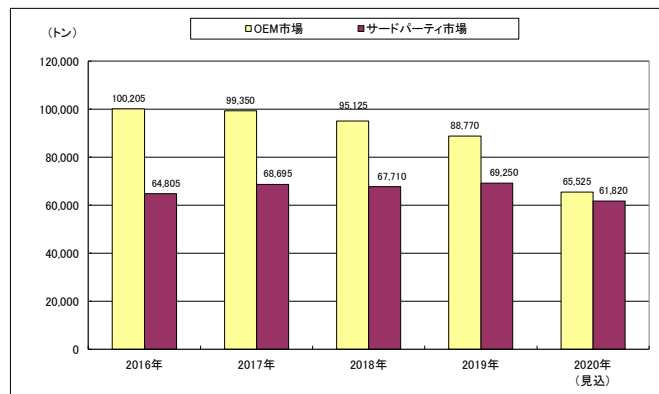
image RUNNER ADVANCE は、世界で 25,000 台で、地域によっては機種切り替え合わせると 10~15%程度下回地域別には、日本:500台、中国:4,000台の計 25,000 台となっている。

【特集】「トナー市場」より抜粋

5. オフィス向けトナー市場における OEM/サードパーティ比率 (2016年~2020年)

1) 全体

年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年(見込)	
	台数	%	台数	%	台数	%	台数	%	台数	%
OEM市場	100,205	60.7	99,350	59.1	95,125	58.4	88,770	56.2	65,525	51.5
対前年比	-		99.1		95.7		93.3		73.8	
サードパーティ市場	64,805	39.3	68,695	40.9	67,710	41.6	69,250	43.8	61,820	48.5
対前年比	-		106.0		98.6		102.3		89.3	
合計	165,010	100.0	168,045	100.0	162,835	100.0	158,020	100.0	127,345	100.0
対前年比	-		101.8		96.9		97.0		80.6	



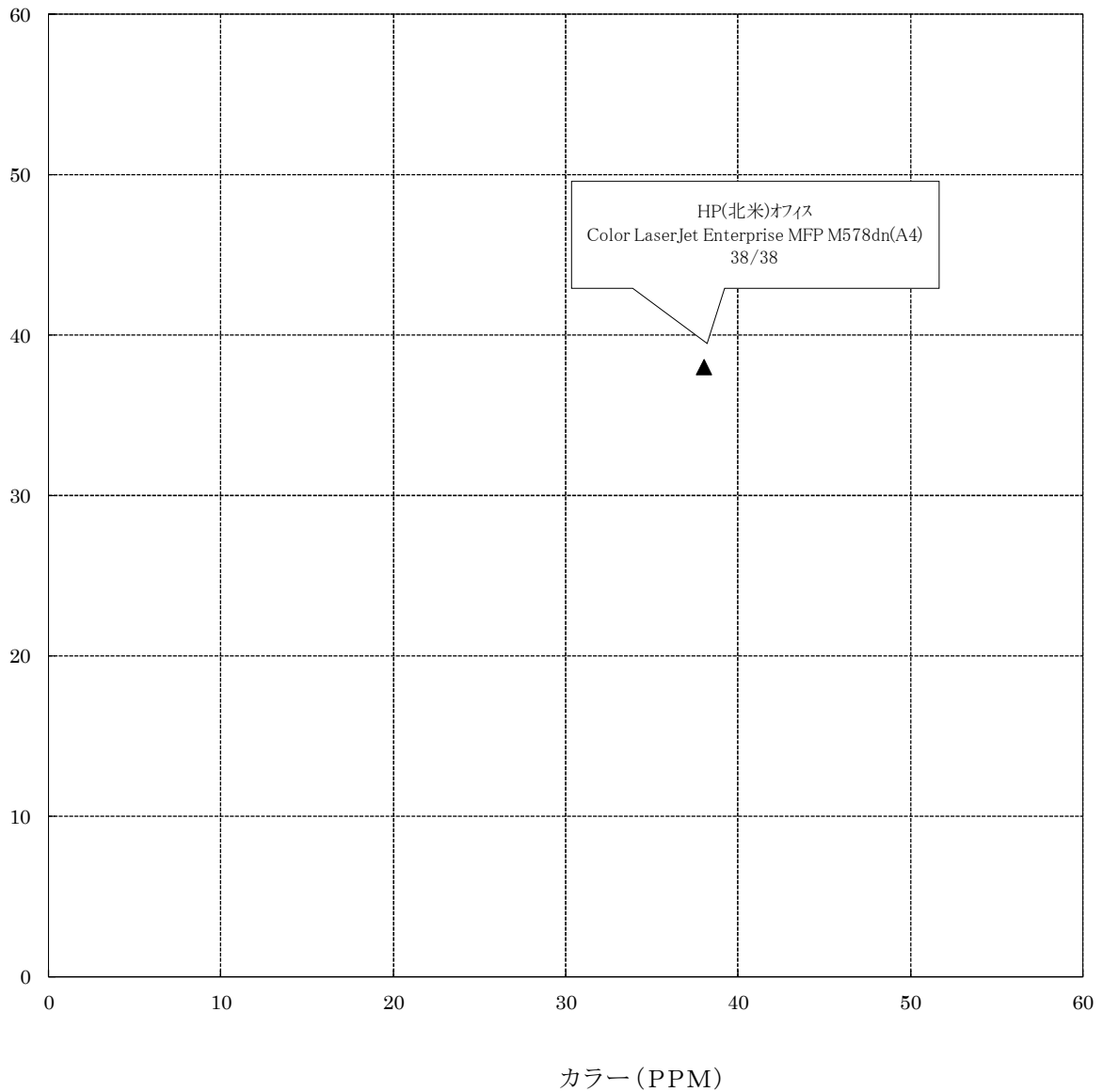
オフィス向けトナー市場(プロダクションプリンティング用を除く)におけるサードパーティ比率は、2019年実績で43.8%。2020年は、OEM市場と比較すると、サードパーティ市場の減少幅はややゆるやかになっており、同年のサードパーティ比率は増加する見込み。製品別のサードパーティ比率は次ページ以降で紹介。

2020. 10 Executive Summary

[今月の新製品]

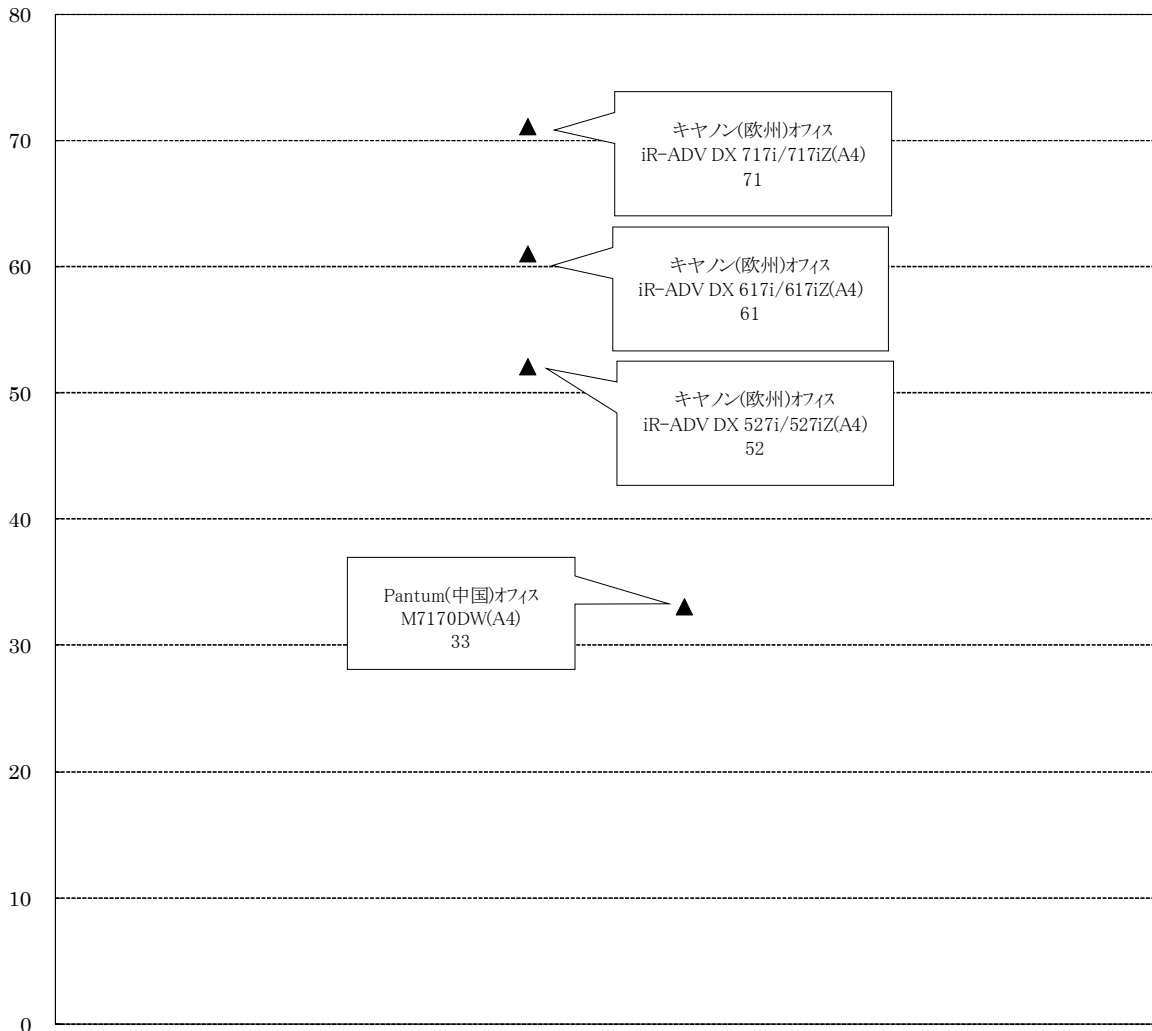
1. カラーMFP (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



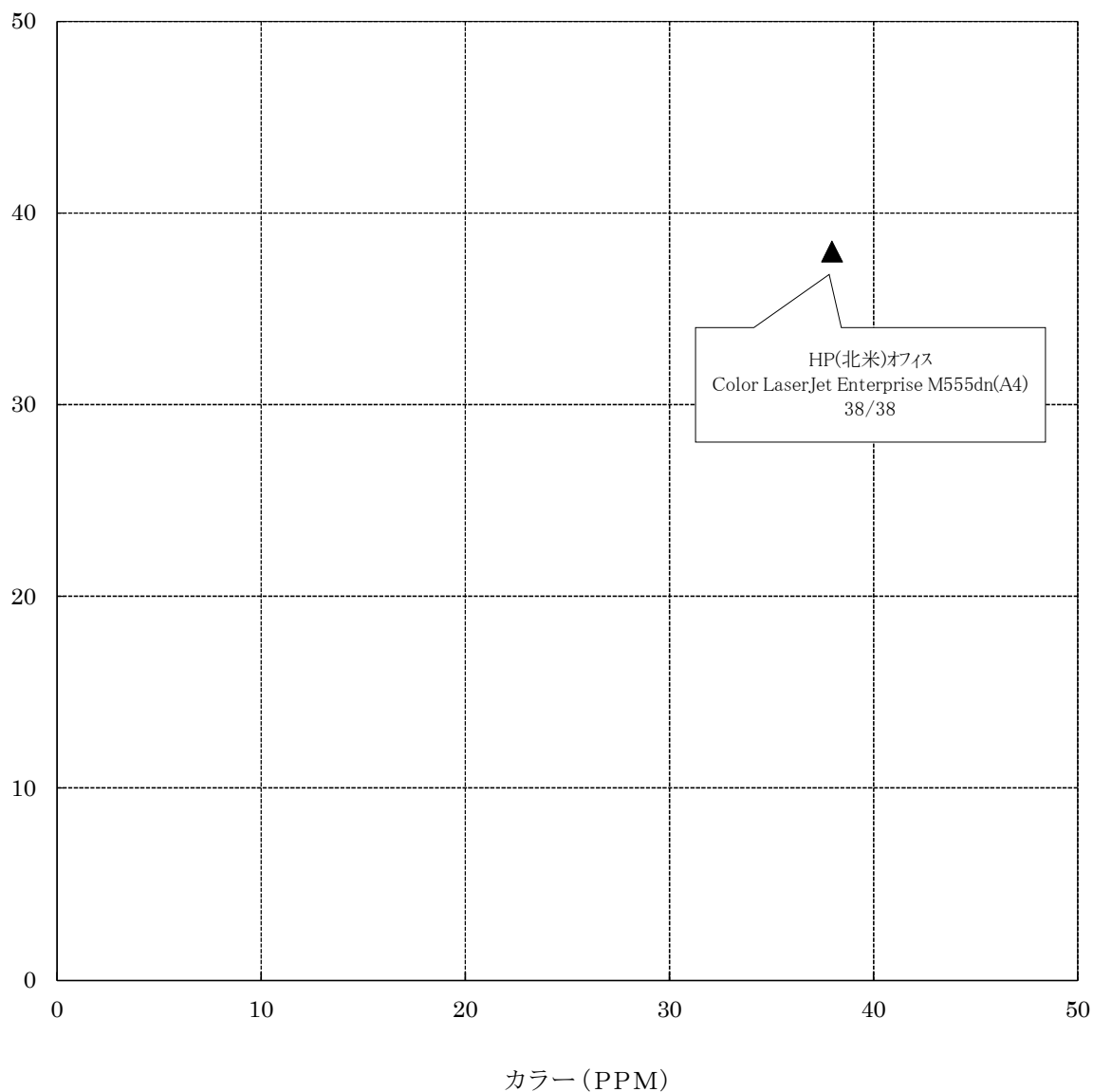
2. モノクロ MFP (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



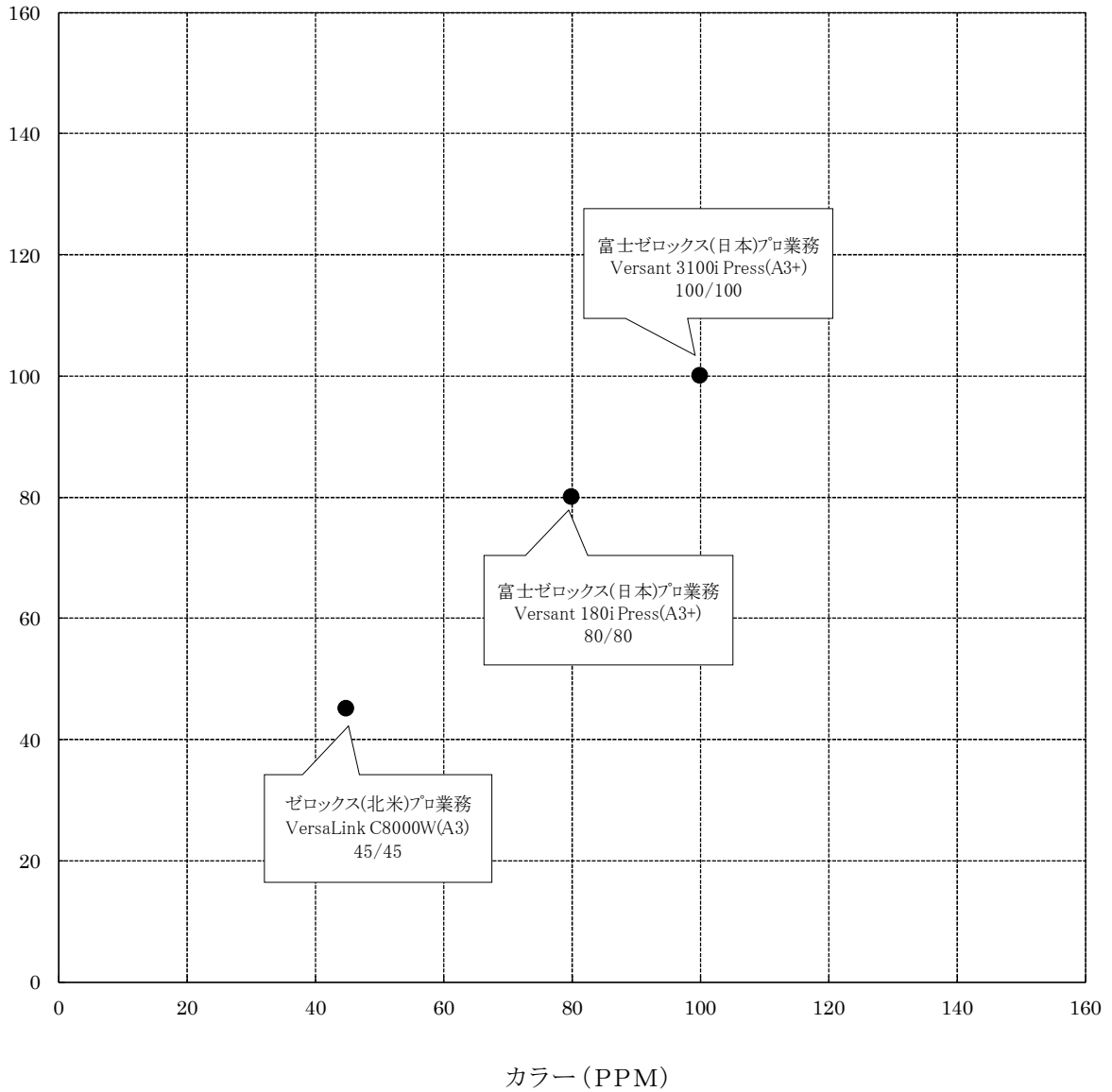
3. カラープリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



4. カラープロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



2020年10月号目次

■ 特集 ■

特集ートナー市場	1
1. 全世界のトナー市場動向	2
2. モノクロ／カラー別トナー生産量の推移（2015年～2024年）	4
3. 全世界の製法別トナー生産量（2015年～2024年）	5
4. 成分別トナー生産量（2015年～2024年）	7
5. オフィス向けトナー市場におけるOEM／サードパーティ比率（2016年～2020年） ..	10
6. 付加価値トナーの動向	15
7. 液体トナーの開発動向	16

■ 実販情報 ■

FーカラーMFP（A3+）ーキヤノンー6	17
（imageRUNNER C3125シリーズ/DX C3725シリーズ/DX C3730シリーズ）	
FーカラーMFP（A3+）ー富士ゼロックスー3	18
（AP/DC-VII C4473シリーズ/C5573シリーズ/C5588/C6673シリーズ/C6688）	
FーモノクロMFP（A3+）ーリコーー6	19
（MP 1301シリーズ/MP 1601シリーズ/MP 2014シリーズ）	
FーモノクロMFP／プリンタ（A4）ー京セラドキュメントソリューションズー2	20
（FS-1020MFP/1120MFP/1220MFP/1040/1041）	

■ 新製品及び消耗品情報 ■
〔国内〕
<プロ／業務向け>

Nーカラープロダクシオンプリンタ（A3+）ー富士ゼロックスー9	21
（Versant 3100i Press/180i Press）	

〔北米〕
<オフィス向け>

Nーカラープリンタ／MFP（A4）ー米・HPー4	30
（HP Color LaserJet Enterprise M555dn/MFP M578dn）	

<プロ／業務向け>

Nーカラープリンタ（A3）ー米・ゼロックスー4	36
（VersaLink C8000W）	

〔欧州〕
<オフィス向け>

NーモノクロMFP（A4）ー欧・キヤノンー10	41
（imageRUNNER ADVANCE DX 717/617/527シリーズ）	

〔中国〕
<オフィス向け>

NーモノクロMFP（A4）ー中国・Pantumー2	48
（M7170DW）	

■ その他情報 ■

○ー偽造品対策ーHPー1	4 9
(アジア地域における偽造品および詐欺販売対策プログラム活動を報告)	
○ー連邦証券法違反ーHP/SECー1	5 0
(米国証券取引委員会に対する 600 万ドルの支払いに合意)	
○ーM&Aーリコーー1	5 3
(MTI Technology 社を買収)	
○ーCEOインタビューーYvianー1	5 4
(会社の沿革や事業内容についてオンラインインタビュー)	
○ープリンターZonewin Technologyー1	5 9
(同社初の A4 モノクロレーザープリンタを発売)	
○ーケミカルトナーーHYBー1	6 1
(リコーのカラープロダクションプリンタ向け“ケミカルトナー”を発売)	
○ーM&AーNinestarー4	6 2
(Kingway と Ink-Tank の残りの株式購入)	
○ーM&AーHubei Dinglongー1	6 3
(Zhuhai Topcolor Image Products Inc を買収)	
○ーデジタルラベル印刷機ーブラザー工業/ドミノー1	6 4
(デジタルラベル印刷機「N730i」をドミノブランドとして発売)	
○ー追加出資ーコニカミノルタ/MGIー1	6 5
(コニカミノルタが MGI 社へ追加出資)	
○ーインクジェットプロダクションプリンター京セラドキュメントソリューションズー2	6 7
(「All in Print China 2020」に「TASKalfa Pro 15000c」を出展)	
○ーインクジェットプリンターセイコーエプソンー2	6 8
(大容量インクタンク搭載の世界累積販売台数が 5,000 万台を達成)	
○ー大型契約締結ーコーニット/アマゾンー1	6 9
(今後 5 年間で総額 4 億ドルの製品・サービスを供給)	
○ー業界関連情報ー各社ー10	7 0
富士ゼロックスが Blue Planet-works と資本業務提携契約を締結/富士ゼロックスが国内の営業体制を刷新/富士ゼロックスが「ソロワークブース CocoDesk」の販売を開始/京セラドキュメントソリューションズがコンビニ等へマルチコピー機を納入/コニカミノルタが「タッチセーフティ」の提供開始/富士フィルムがインクジェットソリューション「UVIQUE」の提供開始/東芝テックが「e-STUDIO シリーズ」と「DX Suite」の連携アプリケーションを提供開始/理想科学工業が「ORPHIS FT5430」を新発売/ブラザー工業が複合機・スキャナー連携ソフトウェアを新発売	

統計速報

統計全体のあらまし	7 7
複写機統計 (生産/受入の内訳/販売/月末在庫)	7 8
プリンタ統計 (生産)	8 2
事務用機器輸出統計	8 3
(ネットワーク対応 MFP/単機能機、ネットワーク非対応 MFP/単機能機)	
事務用機器輸入統計	8 8
(ネットワーク対応 MFP/単機能機、ネットワーク非対応 MFP/単機能機)	

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から発刊している、電子写真に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、普通紙FAX等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の市場動向、海外への進出情報、量販店情報、ユーザー調査等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥700,000(消費税別) 月会費 ¥60,000(消費税別)

英文版 \$7,000

2014年11月号からスタート

	特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)
2020.9	・複写機・プリンタ業界のOEM&提携関係と今後の業界再編:ポストコロナ時代に向けて大きく変化しつつある各社のOEM&提携戦略の現状を概観しつつ、各社が業界再編においてどのように参加していくかを、弊社独自の視点でまとめた。
2020.8	・APPPEXPO 2020:7月に中国・上海市の国家会展中心において開催された第28回上海国際広告技術設備展覧会(通称APPPEXPO)。サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示についてレポート。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2020年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2020.7	・プロダクションプリンタ市場:プロダクションプリンタの出荷現状と、特色ある機種、トナー量などに焦点をあててレポート。 ・欧州における酸化チタン規制と各社の対応:欧州における酸化チタン規制の概要と主要トナーメーカーの最新対応状況を報告。
2020.6	・欧州におけるハードウェア市場動向:複写機・プリンタの一大マーケットである欧州におけるハードウェア市場動向を概説。欧州全体の最新市場動向やコロナショックによる最新予測シナリオ、主要国におけるメーカーシェアなども取り上げた。 ・決算:定複写機・プリンタメーカーの2019年度(キヤノンのみ2019年12月期)決算を概括。
2020.5	・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概観。
2020.4	・感光体市場:全世界の感光体生産量の推移をまとめ、日本メーカーの生産状況を海外メーカーと比較しながら概観。また、日本メーカーの動向も各社ごとにまとめた。
2020.3	・新型コロナウイルスの事務機業界への影響:事務機業界における中国への生産依存度や中国部材の依存度、また全世界の販売分布などを弊社の各レポートから報告。
2020.2	・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:MFP(複写機・複合機)の最新出荷動向を取り上げた。全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2020.1	・中国市場:中国の最新市場動向に加え、中国現地メーカーの概要、また日本メーカーと中国メーカーの提携関係などを概説。
2019.12	・ラベルエキスポヨーロッパ2019:9月24日(火)から27日(金)までの4日間、ベルギーのブリュッセルにおいて開催された、同展示会に出展された主要メーカーの展示動向をレポート。
2019.11	・Remax2019:中国広東省珠海市で開催された「RemaxWorld Expo 2019」(開催日:2019年10月17日から19日)をレポート。
2019.10	・トナー市場:電子写真ビジネスにおける利益の源泉であるトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・OGBS2019:イベントに出展されたインクジェット方式のデジタル印刷機を中心に、各メーカーの出展状況をレポート。
2019.9	・ITMA2019にみるデジタルテキスタイル印刷市場の現状:デジタルテキスタイル印刷市場の最新市場動向を概観しつつ、ITMAに出展された主要メーカーの注目機種をレポート。 ・トナー市場(速報):8月27日に発刊した【2019年版トナーマーケット総覧】より、「全世界のトナー生産量推移」と「OEM市場/サードパーティ市場別の生産量推移」を速報形式で取り上げた。
2019.8	・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2019.7	・ラベルフォーラムジャパン2019:同イベントに出展された電子写真及びインクジェット方式のデジタルラベル印刷機の最新機種を取り上げつつ、各メーカーの販売状況をレポート。
2019.6	・複写機・プリンタメーカーの生産拠点最新動向:ハードメーカー各社のMFPやプリンタの最新生産拠点動向と、米中の追加関税問題への対応策について概括。
2019.5	・決算:複写機・プリンタメーカー並びに関連企業が発表した2018年度(キヤノン、サカタインクス、住友ゴム工業のみ2018年12月期)の決算を概括。
2019.4	・感光体市場:全世界の感光体生産量の推移をまとめ、日本メーカーの生産状況を海外メーカーと比較しながら概観。海外では、中国メーカーの動向に着目。
2019.3	・トナー用レジンの最新市場動向:過去20年におけるトナー用レジンの生産動向を振り返りつつ、日本メーカーを中心に各社の最新動向を概観。
2019.2	・中間転写ベルトの最新市場動向:材料や用途など様々な切り口による出荷動向の分析に加え、ハードウェアメーカー別のベルト採用状況などもまとめた。
2019.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:中国メーカーによる業界参入の本格化など、今後の世界市場動向について分析。
2018.12	・A3MFP(複写機・複合機)の最新出荷動向:全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A3インクジェットとの競合状況などの概略。 ・エコプロ:2018年12月6日~8日に東京ビッグサイトで開催された展示状況を、複合機メーカーを中心にまとめた。
2018.11	Remax2018:中国広東省珠海市で開催された「RemaxWorld Expo 2018」(開催日:2018年10月18日から20日)に出展したアフターメーカーを直接取材。アフターマーケットの最新トレンド、主要3大メーカー(Ninestar、Dinglong、Goldengreen)の最新情報及びトナーカートリッジ関連73社、トナー関連26社、ドラム関連10社、ローラー関連31社、その他8社の最新情報(設立年、会社所在地、出荷数量他)をレポート。
2018.10	トナー市場:トナーの最新市場動向を取り上げる。様々な切り口による出荷動向の分析に加え、酸化チタンの使用規制への各社の対応もまとめた。
2018.9	再生トナーカートリッジの国内市場動向:国内における再生トナーカートリッジの最新市場動向を取り上げた。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（ 刊行日・価格の
変更があります ）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2020年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《 定期刊行物 》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月/年
《 2020年/2021年刊行予定物 》						
* 2020年版[感光体マーケット総覧] (292頁) 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥500,000	2/26	\$5,200	4/17 予定	日 英	
* 2020年版緊急レポート(コロナショックと業界大規模再編) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の 地域別メーカー別分析』(240頁)	¥300,000	4/24	\$3,000	6/19	日 英	
* 2020年版[ローラー系部品マーケット総覧] (651頁) 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥400,000	5/26	\$4,000	11/30 予定	日 英	
* 2020年版[トナーマーケット総覧] (582頁) 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥600,000	7/28	\$6,000	10/23 予定	日 英	
(新レポート) * 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	9/28	\$4,000	12/25 予定	日 英	
* 2020年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ポストコロナ時代に市場拡大が期待される 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	11/26 予定	\$5,000	2021.2/26 予定	日 英	
* 2020年版[MFPマーケット総覧] (フルレポート) 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 ¥350,000/ ¥350,000	12/23 予定	— —	—		
ニューレポート * 2021年版 『出力機器関連器材ハンドブック』	¥200,000	2021.1/28 予定	—	—		
《 2019年刊行物 》						
* 2019年版[感光体マーケット総覧] (300頁) 『中国が日本を追い越す感光体業界の実情』	¥500,000	2/22	\$5,200	4/12	日 英	
* 2019年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (314頁) 『中国・アジアが牽引する産業用インクジェット市場の最新動向』	¥500,000	3/28	\$5,000	6/17	日 英	
* 2019年版[ローラー系部品マーケット総覧] (657頁) 『戦略転換が急務のローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/22	日 英	
* 2019年版[トナーマーケット総覧] (591頁) 『事業の健全性が問われるトナー業界の将来性』	¥600,000	8/27	\$6,000	10/18	日 英	
* 2019年版[サプライチェーンマーケット総覧] (315頁) 『激変する事務機業界のサプライチェーン』	¥200,000	11/14	\$2,000	2020年 1/17	日 英	
* 2019年版[MFPマーケット総覧] (807頁) 『成熟市場に挑戦し続ける事務機業界の展望』 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12	— —	—		
《 その他の刊行物 》						
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		